

## 【LGS 報告書 : 2017 年度 海外研修 (La Jolla, San Diego, USA)】

実施日	2017/08/28-9/2
氏名	古矢 裕樹
<p><b>【研修要約】</b></p> <p>本研修においてはボストン、サンフランシスコ・ベイエリアについて世界で第3位となる大規模なイノベーションクラスターを形成している UC San Diego を訪れ、現地ヘルスサイエンス部門で活躍している Kyowa Kirin Pharmaceutical Research、Tanabe Research Laboratories、Ajinomoto Althea、BioLegend の4社を3日間見学した。各々の企業においては各社の歴史や製品に関するレクチャーを通じて各社の戦略を学んだ他、各企業の豊富な研究設備と細分化された組織の見学を通じて国内施設との環境の違いを体感した。</p> <div data-bbox="758 353 1417 786" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">Kyowa Kirin Pharmaceutical Research La Jolla Institute for Allergy &amp; Immunology 前にて</p>	
<p><b>【印象的な研修内容】</b></p> <p>Kyowa Kirin Pharmaceutical Research の pharmaceutical researcher である John Laudenslager 博士による適切な抗体デザイン論についての講義が最も印象的であった。膠原病科医として抗体製剤について慣れ親しんでいるつもりであったが、抗体製剤に用いる IgG サブクラスの違いや IgG 糖鎖の修飾、Fab と Fc の選択によって血中半減期や安定性、Target cell の破壊やシグナルブロックなどの effector 機能が大きく変わることを知った。強い驚きと興味と共に抗体製剤創薬への知見を深めることが出来た。</p> <div data-bbox="837 996 1412 1433" data-label="Diagram"> <p style="text-align: center;">抗体製剤の効果増強のための®Complement Technology</p> </div>	
<p><b>【研究活動への展開について】</b></p> <p>各企業における製品レクチャーは自分の研究テーマに関わるものから未知の領域まで多岐に渡っており、現在使用しているツールに対する理解を深めるだけでなく、今後の研究活動の幅を広げ得ると感じた。また、各企業が免疫学のどの分野をターゲットに据え、どこまでを企業内で管理、外部に受託するかなどの創薬経営の形を知る過去にない貴重な機会でもあった。過去には自分が将来創薬・経営について関わることは全く想像が出来なかったが、本実習を通じて自分の可能性の一つとして認識することが出来た。将来の海外ラボへの留学を含めて自分の将来の可能性を見つめ直す大変有意義な機会であった。</p>	